

春まっしぐら

今月から始まった青春まっしぐら」のトッ
プバッターは、南こう
せつの大ファンという



本町の真行寺隆晴さん。
真行寺さんのお宅は農家と聞き
ましたが、「そうです。田んぼ
と畑、三町歩ほどです。ちょ
うど稲かりの最中で、
朝早くから夜まで大
いそがしです。両親
と姉の四大家族なん
です。長男ですから
家を継いで、自分な
りにがんばって行き
ます」と話す真行寺
さん。内に秘めたフ
ァイトがキラリと光
る。

秋の夜長は推理小説 真行寺隆晴さん

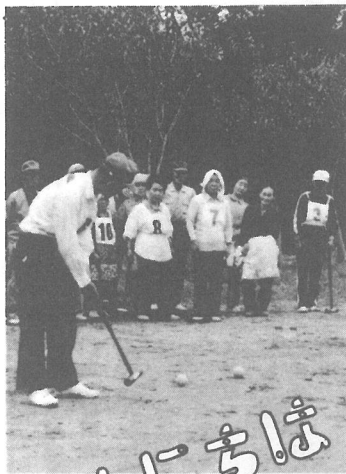
すか。「今は稲かりが忙しいので出
かけませんが、これが終わったら友
だちと軽井沢へ行く予定なん
ですよ。バトミントンをやっ
てまして、週一回、必ず練習
に行ってます」と話す真行寺
さん。今は家業第一。
最近、めっきり秋らしくな
ってきましたが、秋の夜長は。
「大好きな南こうせつのレコ
ードを聞いたり、読みだした
らやめられない推理小説を楽
しんでいます」という。
バトミントンと、赤川次郎
の推理小説、南こうせつが大
好きという真行寺さんは、二十一
歳。ただ今、青春まっしぐらノ

栗山のみなさんが、ゲートボ
ルを楽しんでいるというので、さ
っそく出かけてみました。
た。

老人ボケなどありません

練習場所は栗山青年館、「こん
にちは」と声をかけると、「こんに

ちは」「よくきてくれました」な
どと元気な声で迎えてくれました。
代表は椎名清さん。「三年ぐら
いにクロッケーを始めたく
す椎名さんの目は輝いている。椎
名さんだけでなく、みんなの目が
輝き、動きもキビキビとしている。
夢中になれるものがあるからなの
でしょうか。「この人たちに老
人ボケなどありません。週一回の
練習を楽しみにしています」と話
してくれたのは、みんなの指導を
している一の瀬勤さんと、越川勝
哉さん。七日に行われる郡大会で
の入賞をめざしている、栗山ゲ
ートボール同好会のみなさんでした。

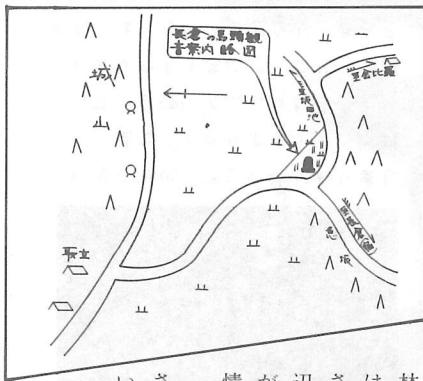


栗山 ゲートボール同好会

「こんにちは」



のゲートボールを始めたのは今年
になってからです。人数が多いの
で、町からいただいた
道具だけではたりなく
て、自分たちで買いました」と話
す椎名さんの目は輝いている。椎
名さんだけでなく、みんなの目が
輝き、動きもキビキビとしている。
夢中になれるものがあるからなの
でしょうか。「この人たちに老
人ボケなどありません。週一回の
練習を楽しみにしています」と話
してくれたのは、みんなの指導を
している一の瀬勤さんと、越川勝
哉さん。七日に行われる郡大会で
の入賞をめざしている、栗山ゲ
ートボール同好会のみなさんでした。



文字から、やはり、道中
安全祈願が主な信仰だと
思われます。石には、西
国、秩父、坂東、百番成
就之處、文化十四年丁刃
正月吉日、寄進郷中、施
主長左工門、と刻まれて
います。
今から約一七〇年前の
文化十四年(一八一七)
のころ、長倉村の長左工
門という人が、西国三十
三観音、坂東三十三観音、秩父三
十四観音(秩父だけ三十四観音を
配し、計百観音)の巡礼遍歴を成
就、道中をつつがなく村に帰るこ
とができたのも観音様のご加護と、
その報恩を兼ねて、長倉村の平穏
息災を祈願して寄進したのが、こ
の馬頭観音様だったのだと思われ
ます。騎乗姿がすべて道中安全の
信仰に結びつくものではなく、た



【さびしさを感じさせる 馬頭観音様】

またま同じ石工が、それぞれの石
を刻み、その持っていた図柄がこ
の騎乗の姿だったのかも知れませ
ん。しかし、偶然とはいえないが、
いずれも道中守護としての信仰
を表わしていることは確かなよう
です。
写真は、取立方面からながめた
馬頭観音様です。後ろに見える山
林は長倉砦に続いています。道路
は舗装され、たんばも整然と区画
されている中で、この観音様の周
辺だけが、取り残されたように草
が繁って、なんとなく昔の風
情をただよわせています。
(本稿取材にあたり、長倉の国井
さんという老婦人の方のご協力を
いただきました)

横芝町文化財審議会委員
小沢春光氏寄稿